

シリーズ  
28  
和納1区

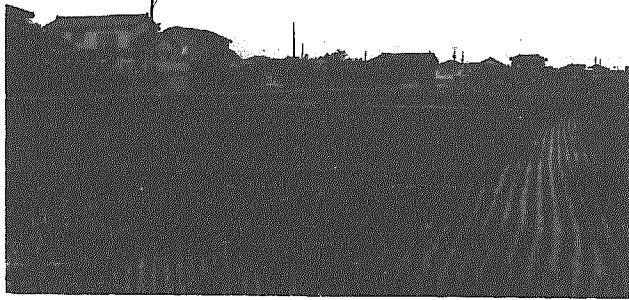
# 賑やかさの中に力強さ



和納1区区長  
佐藤長一さん  
(73歳)

■いよいよ暑さのきびしくなる季節。しかし、海、山にそして夏祭り、一年中でももつともにぎやかで楽しい季節でもありますね。  
そこで、今月の「おじゃまします」——地域情報ネットワーク——は、夏の大イベント「和納十五夜まつり」を間近にし、その熱気も一段とまじってきた和納1区におじゃましてみました。

「ここ和納1区は、何んといつても、住民のまとまりの良さが町内円満ということが第一の特徴でしょうか」と開口一番に地区の特徴を話す区長の佐藤長一さん。



和納1区は、みなさんもお存じのとおり、和納地区では一番上手（吉田寄り）に位置する地区で、同地区内にはJR越後線岩室駅があり、朝夕は大勢の通勤・通学客で賑わいます。人口は四百五十七人、戸数が百二十二戸と大きな行政区の一つで、和納地区ではそのリーダー的存在として名を馳せてきた地区でもあります。同地区、以前は隣区の和納二区とともに「八幡前」という地区名で呼ばれ、文字通り八幡神社を中心に栄えてきた集落ですが、昭和三十五年（1960年）に岩室村が合併、その翌年四月に行政区が改称され、現在の和納1区となりました。



「以前は、隣の二区とは一緒に、戸数が多かったせいもあります。何をやるにしても賑やかでした。特に十五夜祭りや地蔵様の祭礼時には、そりゃあ大変なものでしたよ。ですから「八幡前」といえば、そのまとまりと賑やかさで他地区を圧倒していましたね」と当時の様子を懐しそうに話す佐藤区長さん。その名残りでしょいか、同地区の農家組合は、いまも二区農家組合とは一緒に会合したり協同作業などを行っています。こんな和納1区、当然のことながら地区内活動やふれあい交流も盛んです。それに昭和六十一年には、地区民待望の八幡前集落開発センターも完成（和納二、九区と共用）し、

その活動内容もますます活発化。活動内容もカラオケありダンスあり交流会ありとバラエティーに富んだものばかり。「私は、区長をやって三年目ですが、うちの地区民のまとまりというかふれあいは最高にいいですね。それも各年代層ごとに本当に楽しく活動していますよ。そんな訳かどうか？地区内行事や祭礼時なんかでも地区民が一致団結、進んで協力してくれそうですので、

力してくれそうですので、  
と嬉しそうにも話す区長の佐藤さん。  
ところで、和納1区は位置的にも恵まれ、昭和四十八年には童子団地が造成されるなど、和納地区でも人口が増えつつある地区でもあります。それに、同団地は新興住宅団地といってもそのほとんどが村内からの転居者ですから、その付き合いというか交流も和気あいあいの同地区。いま新しい時代の波が押し寄せる中、昔ながらの人情味を残しながら新しいふれあい交流を活発に進める和納1区。ほんとうに頼もしい地区です。

和納1区  
ミニデータ

(人口と世帯)	
人口	457人
男	212人
女	245人
世帯数	122世帯

(平成2年6月1日現在)

## みんなの未来を考えるため 10月1日 国勢調査。

今の日本を知り、未来を考えるための国勢調査が、来る10月1日全国一斉に行われます。国勢調査は、赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての人が対象となる大規模な調査です。調査の結果は、福祉、教育、雇用、住宅建設など生活に密着した問題について、国や都道府県、市町村などが、これからの行政を考える基礎資料として活用されます。どうぞご協力ください。



## 文弥人形劇鑑賞会

■とき 10月18日(日)午後7時～  
■会場 岩室村公民館講堂

十月十八日(日)、佐渡の文弥人形劇の鑑賞会を公民館、婦人会の共催で行います。公演は女性だけで構成されている「常盤座」です。古くから伝わる伝統芸能を家族そろってご鑑賞ください。チケットは八月頃販売予定です。